

前夜
10/25 (木)
18:00-19:00
プレコンgres開催!
カンフォーダブル・ケアの
有効性を明らかにする
大塚恒子
(一般財団法人仁明会
精神衛生研究所 副所長/
当協会 副会長)

第25回

日本精神科看護専門学術集会 in 香川

2018.10.26 fri >> 10.27 sat

サンポートホール高松

学術講演

パーソナルリカバリーのための共同意思決定(SDM)

藤井千代 (国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部 部長)

パネルディスカッション

① シームレスケア in 香川 (シームレスな連携 in 香川)

コーディネーター / 松永智香 (JA高知病院)

② 精神科看護者だからできる啓発活動を考える!

コーディネーター / 吉川隆博 (東海大学医学部看護学科)

③ 多職種で考える行動制限最小化

コーディネーター / 吉浜文洋 (佛教大学保健医療技術学部看護学科)

テーマセッション

- 患者と医療者の「共同意思決定支援」
- 「疾病自己管理」に対する取り組み
- 地域での「再発防止」または「身体ケア」に関する取り組み
- 精神科看護者が行う「就労支援」

会場：サンポートホール高松 (香川県高松市サンポート2-1)

お申し込み先：東武トップツアーズ (株) 高松支店 TEL 087-851-6666 FAX 087-851-6535 (担当：三好・小林)

お問い合わせ先：一般社団法人日本精神科看護協会 TEL 03-5796-7033 www.jpna.jp

主催：一般社団法人日本精神科看護協会、一般社団法人日本精神科看護協会香川県支部

後援：香川県 / 高松市 / 公益社団法人日本精神科病院協会香川県支部 /

公益社団法人香川県看護協会 / 一般社団法人香川県作業療法士会

詳細は日本精神科看護学術集会専用ホームページをご覧ください ▶ <http://jpna-gakujutsu.jp>



第25回 日本精神科看護専門学術集会 in 香川

10/25(木) 18:00-19:00 プレングレス

カンフォーダブル・ケアの有効性を明らかにする
大塚恒子(一般財団法人仁明会精神衛生研究所 副所長/
当協会 副会長)

プログラム

10/26
(金)

9:15 受付	9:50 開会式	10:00~11:45 学術講演 パーソナルリカバリーのための 共同意思決定(SDM)	12:00~13:00 昼食 ランチョンセミナー	13:10~17:40 パネルディスカッション① テーマセッション 一般演題A・B
------------	-------------	--	--------------------------------	--

10/27
(土)

9:15 受付	9:30~11:40 パネルディスカッション② テーマセッション 一般演題A・B	11:55~12:55 昼食 ランチョンセミナー	13:05~15:15 パネルディスカッション③ 一般演題A・B
------------	---	--------------------------------	--

※プログラムや
時間等は一部
変更することが
あります

学術講演

パーソナルリカバリーのための 共同意思決定(SDM)

講師/藤井千代

国立研究開発法人 国立精神・神経医療研究センター
精神保健研究所 地域・司法精神医療研究部 部長



リカバリーとは、病や障害があっても、希望をもち、その人らしい生き方を主体的に追求することであり、そのプロセスやゴールは人それぞれである。国際的な潮流を見ると、精神障がい者支援においては当事者一人ひとりがリカバリーへの道を歩むことができるような治療や支援が求められており、わが国でもリカバリーの考え方が急速に広まりつつある。リカバリー支援においては、本人の希望や価値観、考え方を尊重したかわり重要であり、そのための実践として、いま注目の共同意思決定(Shared Decision Making)を紹介する。

1993年防衛医科大学卒業、2001年慶應義塾大学大学院修了。自衛隊中央病院精神科医長、在宅緩和ケアクリニック副院長、埼玉県立大学保健医療福祉学研究所准教授を経て、2015年より国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所に勤務。2016年より同研究所社会復帰研究部長、2018年より地域・司法精神医療研究部長。日本社会精神医学会理事、東邦大学医学部精神医学講座客員教授。

パネルディスカッション

① シームレスケア in 香川(シームレスな連携 in 香川)

コーディネーター/松永智香(JA高知病院)

地域医療構想と地域包括ケアが展開されていく中、いち早く地域包括ケアシステム構築を実践している香川シームレス研究会や綾川町で行なわれている在宅医療介護連携の取り組みなどをご紹介いただく。認知症患者の事例を通して「シームレスな連携」「在宅医療介護連携」を具体的に“知る”“学ぶ”“考える”“創造する”時間を共有し、精神科領域で従事する看護者として開発・改善できる地域移行の可能性についてディスカッションする。

② 精神科看護者だからできる啓発活動を考える!

コーディネーター/吉川隆博(東海大学健康科学部看護学科)

日本では今も「精神疾患は特別な病気」であるとしてとらえている人が多い。このような精神疾患に対する誤解と精神障がい者に対する偏見は長く続いており、その解消に向けた取り組みの効果はまだ現われていない。精神疾患に対する理解を深めてもらうために正しい知識を提供することは、国民一人ひとりが自身のメンタルヘルスを維持するだけでなく、必要に応じて適切に専門的治療を受けるという行動につながる。精神科看護者だからこそ、できる、活動とは?今回は、脳や心に起因する疾患(障害)に関する啓発活動を展開している「SILVER RIBBON JAPAN(シルバリーボンジャパン)」代表の関 茂樹さんらの活動を紹介するとともに、啓発活動について一緒に考えていきたいと思います。

③ 多職種で考える行動制限最小化

コーディネーター/吉浜文洋(佛教大学保健医療技術学部看護学科)

隔離・身体拘束の問題は高齢の入院患者の増加もあって深刻さを増している。平成30年度診療報酬改定では行動制限最小化が看護補助加算、看護職員夜間配置加算の施設基準に取り入れられた。行動制限最小化には、政策面での誘導も必要だが、臨床の場では看護職以外の職種に関心をもってもらうことも重要だ。医師、看護職以外の職種はこの問題にどう向き合っているのか。看護職は、彼らとどう連携すれば行動制限最小化の方向性を確かなものにするのか。そのような問題意識で多職種によるセッションをもちたい。

10/25(木) 18:00-19:00 プレングレス



カンフォーダブル・ケアの 有効性を明らかにする

大塚恒子(一般財団法人仁明会
精神衛生研究所 副所長/当協会 副会長)

激しい興奮や拒絶などに遭遇した時、事態が收拾できなくなる場面と安心や安定が得られる場面がある。前者は知性や理性を司る大脳皮質に働きかけ、現状を伝えて理解や協力を得ようとする対応で、認知機能が低下している患者にはさらなる混乱を招く。後者は本能行動の機能をもつ大脳辺縁系に働きかけて焦燥や不安に寄り添い、快の刺激として認識・記憶させるカンフォーダブル・ケアである。その有効性の根拠とケアを共有したい。

参加費(プレングレス参加費含む)

会員 事前申込: 12,960円(税込)/当日申込: 15,120円(税込)

非会員 事前申込: 23,760円(税込)/当日申込: 25,920円(税込)

※プレングレスのみ参加 事前申込・当日申込ともに: 会員1,080円(税込) 非会員2,160円(税込)

お申し込み方法

① インターネットの場合

学術集会専用ホームページの「第25回日本精神科看護専門学術集会(香川県) Web申込」からお申し込みいただけます。

② FAXの場合

パンフレット「第25回日本精神科看護専門学術集会(香川県)のご案内」の参加申込書に必要事項を記入し、下記のお申し込み先へ送信してください。参加申込書は、学術集会専用ホームページからダウンロードできます。

お申し込み先

東武トップツアーズ高松支店「第25回日本精神科看護専門学術集会(香川県)」係
TEL: 087-851-6666 FAX: 087-851-6535 担当: 三好・小林

※お電話でのお申し込みは受け付けておりませんので、ご了承ください
※会員とは、一般社団法人日本精神科看護協会の会員をさします

事前申込受付
平成30年
7/10(火)~
9/26(水)

※上記期間後は
当日申込の参加費となります

詳細は専用ホームページで

主要プログラムの具体的な内容やその他たくさんの企画、アクセスマップを含む基本情報など、日本精神科看護学術集会専用ホームページで詳しく紹介しています。



www.jpna-gakujutsu.jp